

平成27年度 第2学期期末考査 (数学 A)

2015-hiA-2-2-test.tex

1年 _____ コース

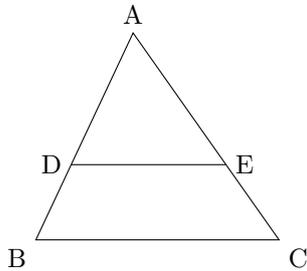
名前 _____

問題1, 3, 5, 7は普通に証明しなさい。

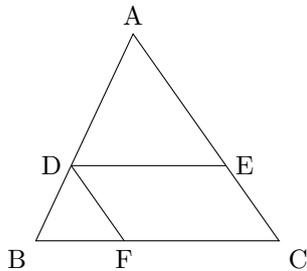
問題2, 4, 6, 8, 9, 10, 11は誤りがあれば, その箇所を訂正しなさい。なければ解答にまるをしなさい。

問題12, 13は普通に解答しなさい。

1. $\triangle ABC$ の辺 AB , AC 上の点をそれぞれ D , E とするとき
 $DE \parallel BC$ ならば $AD : DB = AE : EC$
 となることを証明せよ。

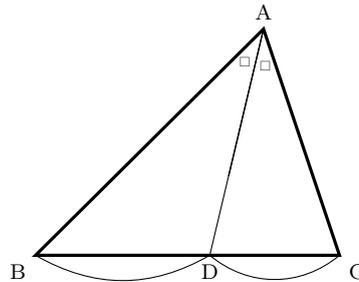


ヒント：点 D を通り線分 EC に平行な直線を引き, 線分 BC との交点を F とする。($EC \parallel DF$)

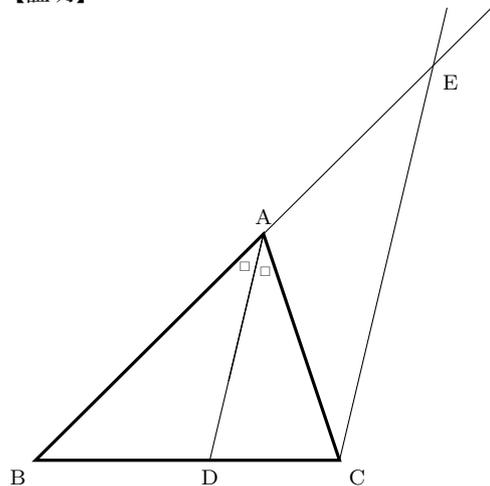


2. (三角形の角の二等分線と比)

$\triangle ABC$ の $\angle A$ の二等分線と辺 BC との交点は, 辺 BC を $AB : AC$ に内分することを証明せよ。



【証明】



$\angle A$ の二等分線と辺 BC の交点を D とすると

$$\angle BAD = \angle DAC \dots \textcircled{1}$$

頂点 C を通り直線 AD に平行な直線を引き, 辺 AB の A を越える延長との交点を E とすると, $AD \parallel EC$ から

$$\angle BAD = \angle AEC \dots \textcircled{2}$$

$$\angle DAC = \angle ACE \dots \textcircled{3}$$

$\textcircled{1}$, $\textcircled{2}$, $\textcircled{3}$ から, $\triangle ACE$ において $\angle AEC = \angle ACE$ となるから

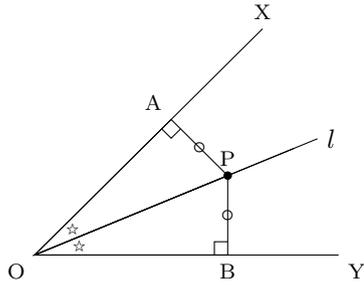
$$AE = AC$$

また, $AD \parallel EC$ から $BD : DC = BA : AE$

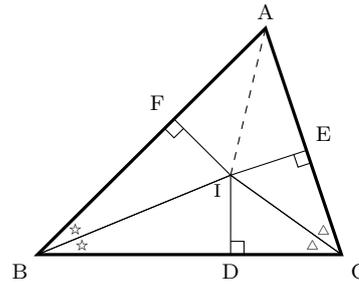
したがって $BD : DC = AB : AC$

【終】

3. $\angle XOY$ の二等分線 l と点 P について,
 点 P が l 上にある \iff 点 P が 2 辺 OX, OY
 から, 等距離にある
 ことを証明せよ。



4. (三角形の内角の二等分線)
 三角形の 3 つの内角の二等分線は 1 点で交わる
 ことを証明せよ。



【証明】

$\triangle ABC$ において, $\angle B$ の二等分線と $\angle C$ の二等分線の交点を I とし, I から辺 BC, CA, AB に下ろした垂線を, それぞれ ID, IE, IF とすると $IF = ID, IE = ID$

$IF = IE$ となるから, I は $\angle A$ の二等分線上にもある。

よって, 三角形の 3 つの内角の二等分線は 1 点で交わる。

【終】

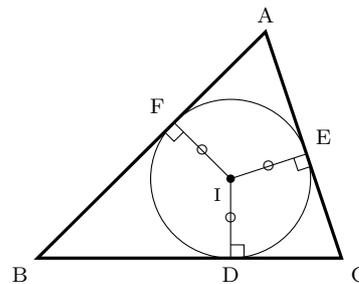
上の証明により, 次のことがいえる。

$ID \perp BC, IE \perp CA, IF \perp AB$

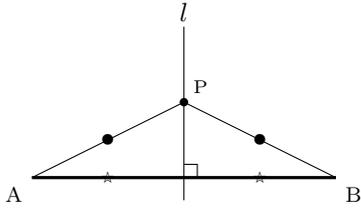
$ID = IE = IF$

よって, この点 I を中心とする半径 ID の円は, $\triangle ABC$ の 3 辺に接する。

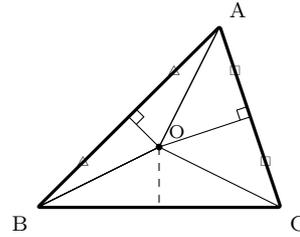
この円を $\triangle ABC$ の内接円といい, 点 I を $\triangle ABC$ の内心いう。



5. 線分 AB の垂直二等分線 l と点 P について、
点 P が l 上にある。 $\iff PA = PB$
が成り立つことを証明せよ。



6. (三角形の辺の垂直二等分線)
三角形の3辺の垂直二等分線は1点で交わることを証明せよ。



【証明】

$\triangle ABC$ において、辺 AB の垂直二等分線と辺 AC の垂直二等分線の交点を O とすると

$$OA = OB, OA = OC$$

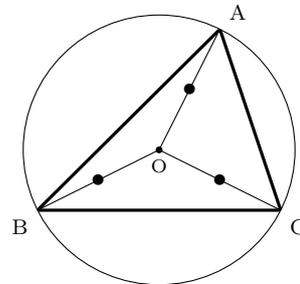
よって、 $OB = OC$ となるから、 O は辺 BC の垂直二等分線上にもある。

したがって、三角形の3辺の垂直二等分線は1点で交わる。

【終】

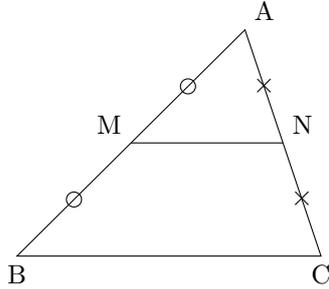
上の証明で示したように、 $\triangle ABC$ において、3辺の垂直二等分線が交わる点を O とすると、点 O は $\triangle ABC$ の3つの頂点から等距離にある。よって、この点 O を中心とする半径 OA の円は、 $\triangle ABC$ の3つの頂点を通る。

この円を $\triangle ABC$ の外接円といい、点 O を $\triangle ABC$ の外心という。



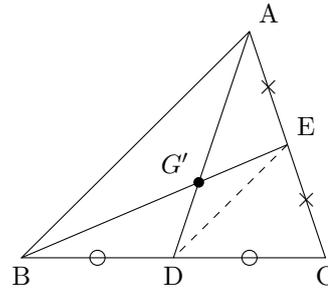
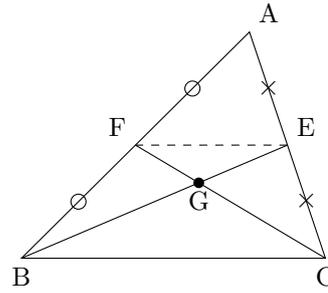
7. (中点連結定理)

$\triangle ABC$ において、辺 AB の中点を M 、辺 AC の中点を N とするとき、
 $MN \parallel BC$, $MN = \frac{1}{2}BC$
 となることを証明せよ。



8. (三角形の中線)

三角形の3本の中線は1点で交わり、その点は各中線を $2:1$ に内分することを証明せよ。



【証明】

$\triangle ABC$ の中線 BE と中線 CF の交点を G とする。また、中線 AD と中線 BE の交点を G' とする。

このとき、まず、2点 G, G' が一致することを示す。

中点連結定理により

$$FE \parallel BC, BC : FE = 2 : 1$$

$$\text{となるから } BG : GE = BC : FE = 2 : 1$$

よって、点 G は線分 BE を $2:1$ に内分する。

$$\text{同様にして } BG' : G'E = AB : ED = 2 : 1$$

よって、点 G' は線分 BE を $2:1$ に内分する。

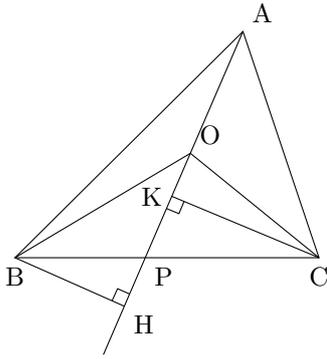
線分 BE を $2:1$ に内分する点は1点だけであるから、2点 G, G' は一致する。

したがって、3本の中線は点 G で交わる。

また、 $AG : GD = BG : GE = CG : GF = 2 : 1$ であるから、3本の中線が交わる点は各中線を $2:1$ に内分する。

【終】

9. 下の図において、
 $\frac{\triangle OAB}{\triangle OCA} = \frac{BP}{PC}$
 が成り立つことを証明せよ。



【証明】

$$\triangle OAB : \triangle OCA = BH : CK$$

$$BH \parallel CK \text{ であるから } BH : CK = BP : PC$$

$$\text{よって } \triangle OAB : \triangle OCA = BP : PC$$

$$\text{すなわち } \frac{\triangle OAB}{\triangle OCA} = \frac{BP}{PC}$$

【終】

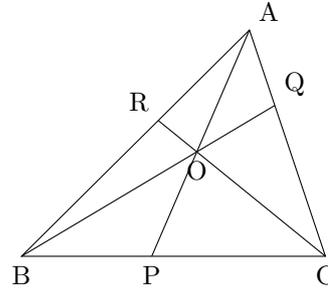
10. (チェバの定理)

$\triangle ABC$ の内部に点 O がある。頂点 A, B, C と O を結ぶ直線が向かい合う辺と、それぞれ

点 P, Q, R で交わる時

$$\frac{BP}{PC} \cdot \frac{CQ}{QA} \cdot \frac{AR}{RB} = 1$$

となることを証明せよ。



【証明】

$\triangle ABC$ において

$$\frac{BP}{PC} = \frac{\triangle OAB}{\triangle OCA}$$

$$\frac{CQ}{QA} = \frac{\triangle OBC}{\triangle OBA}$$

$$\frac{AR}{RB} = \frac{\triangle OAC}{\triangle OCB}$$

$$\frac{AR}{RB} = \frac{\triangle OAC}{\triangle OCB}$$

$$\text{よって}$$

$$\frac{BP}{PC} \cdot \frac{CQ}{QA} \cdot \frac{AR}{RB}$$

$$= \frac{\triangle OAB}{\triangle OCA} \cdot \frac{\triangle OBC}{\triangle OBA} \cdot \frac{\triangle OCA}{\triangle OCB} = 1$$

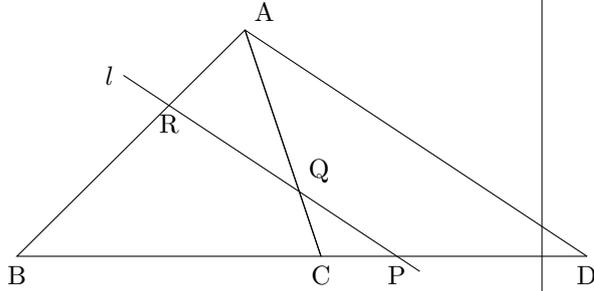
$$= \frac{\triangle OAB}{\triangle OCA} \cdot \frac{\triangle OBC}{\triangle OBA} \cdot \frac{\triangle OCA}{\triangle OCB} = 1$$

【終】

11. (メネラウスの定理)

$\triangle ABC$ の辺 BC , CA , AB またはその延長が、三角形の頂点を通らない直線 l と、それぞれ点 P , Q , R で交わる時

$$\frac{BP}{PC} \cdot \frac{CQ}{QA} \cdot \frac{AR}{RB} = 1$$
 となることを証明せよ。



【証明】

$\triangle ABC$ の頂点 A を通り、直線 l に平行な直線を引き、直線 BC との交点を D とする。

平行線と線分の比の関係から

$$\frac{CQ}{QA} = \frac{CP}{PD}, \quad \frac{AR}{RB} = \frac{DP}{PB}$$

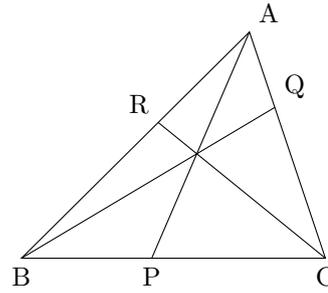
よって

$$\frac{BP}{PC} \cdot \frac{CQ}{QA} \cdot \frac{AR}{RB} = \frac{BP}{PC} \cdot \frac{CP}{PD} \cdot \frac{DP}{PB} = 1$$

【終】

12. $\triangle ABC$ において、

$CQ : QA = 2 : 1$, $AR : RB = 2 : 3$,
 であるとき、 $BP : PC$ を求めなさい。



13. $\triangle ABC$ において、

$AR : RB = 2 : 3$, $BC : CP = 2 : 1$, である
 とき、 $CQ : QA$ を求めなさい。

